



令和 7 年度 補助事業等実績報告書

令和 7 年 9 月 2 日

函館市長 大 泉 潤 様

〒040-0015

住所 函館市梁川町 2 1 番 4 号

申請者

団体名 函館日韓交流会

代表者氏名 会長 申 東煥

補助事業等の名称 日韓科学交流事業

令和 7 年 7 月 2 4 日付け函企国をもって補助金等の交付の決定を受けた上記の補助事業等は、令和 7 年 8 月 3 1 日完了したので、関係書類を添えて報告します。

補助金等交付決定通知額 金 2 8 , 0 0 0 円

補助金等領収済額 金 2 8 , 0 0 0 円

補助金等領収未済額 金 0 円

補助事業等の計画—（実績）—書

名 称	日韓科学交流事業
開 催 期 日	令和7年8月23日～令和7年8月31日
開 催 場 所	函館市地域交流まちづくりセンター
主催者、共催者 および後援者等	主催 函館日韓交流会 共催 株式会社函館研究所
参 加 人 員	・韓国側2名：東亜サイエンス教育企画研究所元所長 [REDACTED] 教育企画会社 [REDACTED] ・日本側14名：函館日韓交流会3名 はこだて国際科学祭参加親子11名（1名） うち外国人参加人数 2名
補 助 事 業 等 の 内 容	・韓国の東亜サイエンス教育企画研究所の元所長である [REDACTED] を招き、日韓の科学交流を行った。 ・はこだて国際科学祭に参加して韓国の食文化を科学的に紹介し、日本の親子（11名）向けの科学教室を行った。
補 助 事 業 等 の 実 施 に よ る 効 果	・はこだて科学祭へ参加し、韓国側参加者へ函館市民の科学活動を知ってもらった。 ・韓国の食文化を科学的に紹介したほか、日本の親子向けの科学教室を行うことで、日本側参加者やはこだて科学祭参加者の韓国の科学活動への理解が深まった。 ・本事業の実施により、次世代を担う子ども達の育成に繋がるほか、更なる日韓交流の促進や友好親善が図られた。 ・今後、函館で行う海外キャンプのプログラムを整えた。
備 考	韓国の東亜サイエンス教育企画研究所の元所長である [REDACTED] は東亜サイエンスの子供向けの科学雑誌である「子供科学東亜」の元編集長であり、プロジェクト企画者である。 通常、[REDACTED] として、科学教室を開催している。

- （注）
1. この様式は、大会等の開催その他これに類する事業等に係る補助金等の実績報告をする場合に使用すること。
 2. 補助事業等の内容は、詳細に記載すること。（別紙も可）
 3. その他必要と認めた書類を添付すること。

共通第4号様式（第7条第2項、第17条第2項）

補助事業等の収支予算（決算）書

収入の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額 （本年度予算額）		前年度予算額 （本年度決算額）		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
自己資金	30,000	30,000	30,473	30,473	473	473	
協賛金	26,000	26,000	26,000	26,000	0	0	
函館市補助金	28,000	28,000	28,000	28,000	0	0	
合 計	84,000	84,000	84,473	84,473	473	473	

支出の部

（単位：円）

項 目	本年度予算額 （本年度予算額）		前年度予算額 （本年度決算額）		増 減		内 訳
		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業		うち、 補助対象事業	
報償費	49,000	49,000	49,000	49,000	0	0	
交通費	30,000	30,000	30,523	30,523	△523	△523	
事務経費	5,000	5,000	4,950	4,950	50	50	
合 計	84,000	84,000	84,473	84,473	△473	△473	

収支差引額 0 円

- （注）
1. この様式は、補助金等に係る実績報告をする場合に使用すること。
 2. 項目は、詳細に区分して記載すること。
 3. 金額の単位は、「円」とすること。
 4. 内訳には、金額の算出基礎その他必要な事項を記載すること。
 5. その他必要と認めた書類を添付すること。

予算(決算)額内訳一覧

(収入の部)

(単位:円)

項 目	本年度予算額 (本年度決算額)		積算内訳	備 考
		うち, 補助対象事業		
自己資金	30,473	30,473		
協賛金	26,000	26,000		株式会社函館研究所
函館市補助金	28,000	28,000		
合 計	84,473	84,473		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
 2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
 3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
 4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。

予算(決算)額内訳一覧

(支出の部)

(単位:円)

項 目	本年度予算額 (本年度決算額)		積算内訳	備 考
		うち 補助対象事業		
報償費	49,000	49,000	通訳謝礼 2,000円×12時間=24,000円 8月23日2時間、8月24日7時間、 8月25日3時間 翻訳謝礼 A4(400字)×5枚×5,000円=25,000円	添付① 添付②
交通費	30,523	30,523	8月23日～27日レンタカー代27,280円 ガソリン代3,243円	添付③-a 添付③-b
事務経費	4,950	4,950	消耗品3,080円 消耗品1,870円	添付③-c 添付③-d
合 計	84,473	84,473		

- (注) 1. この様式は、共通第4号様式「収支予算(決算)書」を説明する添付書類として必ず提出すること。
 2. 収入の部・支出の部それぞれ作成すること。
 3. 積算額内訳欄には、具体的内容と金額の算出基礎等を詳細に記入すること。
 4. 金額の単位は、申請の場合「千円」、実績報告の場合「円」とすること。